



世界へのプレゼントになろう

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10) 例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

平成 28 年 6 月 14 日 (火) 第 2763 回 例会 (本年度第 42 回)

6月21日(火)	RI規定休会
6月28日(火)	越智年度最終例会
7月 5日(火)	加藤年度第一回例会(会長報告/年間活動計画)
7月12日(火)	加藤年度第二回例会(委員会年次計画)

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長/越智 茂 昭

1. 臨時理事会 (持ち回り) について
加藤賢君から退会届が出され、承認された。
2. 手続要覧について
2016 年版の手続要覧には、前回版で黄色のページに含まれていたロータリーの組織規定が収められます。手続要覧は 3 年ごとに刷新されており、以前の白いページに収められていた情報はすぐに古くなり、ロータリー章典と矛盾してしまいます。このため、今後の手続要覧では、この部分を含めないことが決定されました。

幹事報告

幹事/武田 啓 之

- ガバナー事務所
クラブ奉仕セミナー開催のご案内
日時：7月2日(土) 13:30~
会場：山形ビックウイング 2F 交流サロン
スケジュール：登録 13:00 点鐘 13:30
登録料：一人 1,000 円
- 米山奨学セミナー開催のご案内
日時：7月9日(土) 14:00~
会場：ホテルメトロポリタン山形
スケジュール：登録 13:30 点鐘 14:00
登録料：一人 2,000 円
- 内川を美しくする会
内川清掃作業への参加について
日時：7月3日(日) 午前6時~
- つるおか市民の翼実行委員会
庄内空港開港 25 周年記念事業
「つるおか市民の 翼」催行に係る周知チラシの配置について (お願い)

丸岡城ものがたり

庄内加藤清正公忠廣公遺跡顕彰会 副会長 小林 良市 氏



丸岡在住の小林良市です。
この地域に住んでいてよかったな
と思える要素の一つに、自分が住
んでいる所の文化や歴史が誇れる
ものであるということがあると思
います。他とは違う、自分の町は
こうだと自信をもって言える、誇
りを持って語れる、そういう地域でありたいという
ことを町づくりの目標にずっとしておりました。

本日は「丸岡城物語」ということでお話をさせて頂
きます。年間丸岡城址を訪れる方は千人ほどいらっ
しゃいます。その方のガイドもしています。

今年 3 月下旬に私たちにとって大変うれしい発
表がありました。それは、国が進めている地方創生
で国の関係機関を地方移転して活性化していこうと
いうのがあります。鶴岡市が山形県では唯一国立が
ん研究センターの機能の一部が移転されることにな
って、すでに準備段階に入っているのではないかと
思います。これが実現したのは、ここに慶應義塾
大学先端生命科学研究所があって、そこ共同開発
ができる工専、山大農学部があり、高等教育機関が
集積し、連携して研究を進めていける環境だからと
思います。加えてご高名な杉村隆先生は、国立がん
研究センターの名誉総長で、鶴岡市の名誉市民でも
あります。先生は加藤家の家臣杉村軍太夫という人
の末裔です。加藤忠廣公が出羽庄内に配流された時
に一緒に来た家臣団の一人です。忠廣公が 53 歳で
亡くなり、家臣団は一斉に職を失うことになります。
家臣団の中には故郷熊本に帰る者、あるいは江戸の
親類を頼る者もいましたが、出来れば、庄内藩に仕

出席報告

会員数	34名
出席	18名
出席率	62.07%
前回回確定出席率	62.07%

■RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン ■地区ガバナー 酒 井 彰

■会長/越智茂昭 ■副会長/木村 節 ■幹事/武田啓之 ■会長エレクト/加藤 亨
■会報委員会/佐藤詩郎・阿部純次・菅原成規

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

官したいということで動いた一人が杉村軍太夫でした。その後杉村軍太夫は庄内藩の要職を務めました。ですから忠廣公の家臣の末裔が国立がん研究センターの名誉総長であって、そのことが今回の鶴岡への機能一部移転に影響していたらうれしいことだなと思った次第です。

「わしは戦国時代の勇将加藤清正の嫡男加藤忠廣である。加藤家終焉の地として知られるここ丸岡城の歴史を紹介しよう」これが丸岡城物語に書いてある大筋です。資料の巻番として「丸岡の起源」を述べています。式に「武藤氏と丸岡城」とタイトルされています。「鎌倉御家人で武蔵野国の住人武藤氏は、鎌倉幕府より出羽国大泉荘の地頭職に任じられ」とあります。当時この辺を大泉荘といいました。庄内の「しょう」は大泉荘から来ています。寛正 3 年（1462 年）12 代淳氏は、將軍足利義政より出羽守に任じられ、翌寛正 4 年に上洛。能役者一行を伴って庄内に下向。黒川能定着の一説となっています。今黒川では黒川能 550 年という言い方をしていますが、それはここからきています。武藤氏と黒川能は密接に関わっています。

丸岡城は尾浦城、藤島城とともに大宝寺の支城で庄内南部の大鳥口、六十里越口の要地守護の役割を担っていました。櫛引の東荒屋安野旅館をご存知でしょうか。そこの地名を追分といいます。追分というのは街道が分かれる場所を言い、大鳥街道と六十里越街道が分かれる場所になっています。丸岡城はその近くにあり、武藤氏の大宝寺城から 6km、一里半で情報伝達にもちょうどよい距離にありました。以下武藤家の歴史が書いてあり、天正 19 年（1591 年）太閤検地反対一揆扇動の疑いで武藤氏は改易され、庄内支配は終わりを告げることとなります。武藤氏の後上杉氏が 10 年、最上氏が幕府によって改易されるまで 22 年間庄内を支配しました。元和元年（1615 年）幕府の一国一城令により丸岡城は取り壊されています。元和 8 年（1622 年）最上氏改易後、酒井忠勝が信州松代から入部しました。因みに酒井氏の後松代に入ったのが真田信幸です。

加藤清正は肥後 54 万石の領主となって、近代熊本礎を築きました。慶長 16 年（1611 年）50 歳で急逝し、家督を継いだのが三男で 11 歳の虎藤丸（忠廣）でした。二人の兄は若い時亡くなっています。徳川家も三代家光の時代になると幕藩体制が確立します。体制を盤石なものにするために、家光は豊臣恩顧の有力外様大名を次々に改易しました。その流れの中で忠廣は出羽の国に配流されたのだと考えます。そしてここ出羽庄内で 22 年間を過ごしその生涯を終えることになります。

大正 2 年に遺跡顕彰会が発会して、一昨年 100 周年を迎えました。今年は鶴岡市の鳥居町にあった日向家の武家屋敷を移築復元して資料館の機能を持たせようと準備しています。7 月から公開します。丸岡を語るとき、戦国の三傑織田信長、豊臣秀吉、

徳川家康の名前を出しながら歴史を語れるということに幸せに感じています。出来得れば加藤清正が大河ドラマになればいいと思っています。祭りがあ、食べ物があり、伝統芸能が年中行事としてあって、その度に歴史を思い起こせるということが文献・資料だけでは伝わらないことだったのではないかと考えています。

私どもが顕彰している庄内について少しでも共感頂き、皆様方の力添えを頂きながら顕彰活動が続けていければと思っています。本日お招き頂いたことに感謝して終わりたいと思います。

小林良市氏プロフィール

昭和 22 年生まれ

昭和 43 年 櫛引町役場職員任用

平成 17 年 鶴岡市櫛引庁舎支所長拝命

平成 20 年 退職

【現在の役職】

庄内加藤清正公忠廣公遺跡顕彰会 副会長

鶴岡市社会福祉協議会 理事

櫛引観光協会 会長

鶴岡市立櫛引中学校後援会 会長

委員会報告

◆ゲスト

庄内加藤清正公忠廣公遺跡顕彰会

副会長 小林 良市氏

◆メイクされた方

本間厚君 阿蘇司朗君 小林健郎君 丸山隆志君

佐藤孝子君 菅原成規君 富樫松夫君 大川淳君



スマイル

小林健郎君 創立記念呈茶会、皆様に盛り上げていただきありがとうございました。10 日にはアビーさんにお茶を差し上げ喜んでいただきました。

加藤 亨君 先日藤川さんにお世話になりました。

菅原成規君 長男が 7 月 3 日全日本学生空手道大会に出場します。大阪まで応援に行くのでクラブ奉仕セミナー、内川清掃休ませてください。

西川富美子君 ローターリー財団、米山奨学会への寄付ありがとうございました。

阿部純次君 小林良市様スピーチありがとうございました。今日の例会スピーチでプログラム委員会の卓話は終了となります。皆様のご協力に感謝申し上げます。

武田浩之君 幹事として通常例会は今日が最後ということで今年一年間お世話になりました。

越智茂昭君 小林さん貴重なお話ありがとうございました。会長報告するのは今日が最後です。一年間ありがとうございました。